

# 学校教員統計調査

(平成22年10月1日現在)



# 学 校 教 員 統 計 調 査

## I 調 査 の 概 要

### 1 調 査 の 目 的

学校の教員構成並びに教員の個人属性、職務態様及び異動状況等を調査し、教員に関する諸施策の検討・立案のための基礎資料等を整備することを目的としています。

### 2 調 査 の 構 成 及 び 調 査 時 期

- (1) 学 校 調 査 平成22年10月1日現在
- (2) 教 員 個 人 調 査 平成22年10月1日現在
- (3) 教 員 異 動 調 査 平成21年度間(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

### 3 調 査 の 範 囲

国・公・私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、幼稚園、特別支援学校、大学及び高等専門学校、専修学校、各種学校(国立の学校、公立及び私立の大学、高等専門学校については、文部科学省が直接調査する。)

### 4 調 査 の 対 象

- (1) 学 校 調 査
  - ア 公立の小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制課程)及び幼稚園
  - イ 私立の高等学校(全日制課程)及び幼稚園
- (2) 教 員 個 人 調 査
  - ア 公立の小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制課程)及び幼稚園並びに私立の高等学校(全日制課程)、幼稚園、専修学校及び各種学校のうち抽出された学校のすべての本務教員(ただし、専修学校及び各種学校については、兼務教員を含む。)
  - イ 公立の高等学校(通信制課程)、特別支援学校、専修学校及び各種学校並びに私立の小学校、中学校、高等学校(定時制・通信制課程)及び特別支援学校のすべての本務教員(ただし、専修学校及び各種学校については、兼務教員を含む。)
- (3) 教 員 異 動 調 査  
専修学校及び各種学校を除く各学校種のすべての本務教員

### 5 調 査 事 項

- (1) 学 校 調 査 性別、年齢別、職名別の本務教員数
- (2) 教 員 個 人 調 査 性別、年齢、職名、学歴、教員免許状の種類、給料月額等
- (3) 教 員 異 動 調 査 性別、年齢、職名及び採用・転入・離職の状況等

### 6 用 語 の 説 明

- (1) 本 務 教 員 平成22年10月1日現在、常勤の教員で校長(園長)、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び実習助手として発令されている者。
- (2) 採 用 教 員 平成21年度間に当該学校の本務教員として、高等学校以下の学校の本務教員以外の職業等から採用された者。
- (3) 転 入 教 員 平成21年度間に高等学校以下の学校の本務教員から当該学校の本務教員として異動した者。
- (4) 離 職 教 員 平成21年度間に当該学校の本務教員でなくなった者並びに高等専門学校以上の学校へ転出した者。

## Ⅱ 調査結果の概要

### －本務教員の男女別・職名別・年齢別構成－

学校教員統計調査のうち、学校調査については都道府県教育委員会集計表から、教員個人調査及び教員異動調査については学校が作成した各調査票から文部科学省が集計を行い、結果については学校教員統計調査報告書として公表されます。

この報告書は、公立の小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制課程)、幼稚園並びに私立の高等学校(全日制課程)、幼稚園の男女別・職名別・年齢別の本務教員について分析し、取りまとめたものです。

### 1 本務教員

平成22年10月1日現在及び平成13年度以降の本務教員の推移は、第1表のとおりです。

第1表 本務教員の推移

区分		13年度 (A)	16年度 (B)	19年度 (C)	22年度 (D)	19年度との比較		13年度との比較	
						増減数 (D-C) E	増減率 (E/C)	増減数 (D-A) F	増減率 (F/A)
公立	小学校	19,788	19,578	19,455	19,457	2	0.0	-331	-1.7
	中学校	12,887	12,363	12,166	12,040	-126	-1.0	-847	-6.6
	高等学校(全日制)	10,490	10,049	9,616	9,260	-356	-3.7	-1,230	-11.7
	高等学校(定時制)	780	789	786	751	-35	-4.5	-29	-3.7
	幼稚園	572	545	505	463	-42	-8.3	-109	-19.1
私立	高等学校(全日制)	2,242	2,084	1,978	1,889	-89	-4.5	-353	-15.7
	幼稚園	3,978	4,196	4,307	4,403	96	2.2	425	10.7

\* 高等学校の教員数には、実習助手を含む。

平成13年度の教員数と比較すると、公立学校においては、小学校331人、中学校847人、高等学校全日制1,230人、高等学校定時制29人、幼稚園109人の減少となっています。

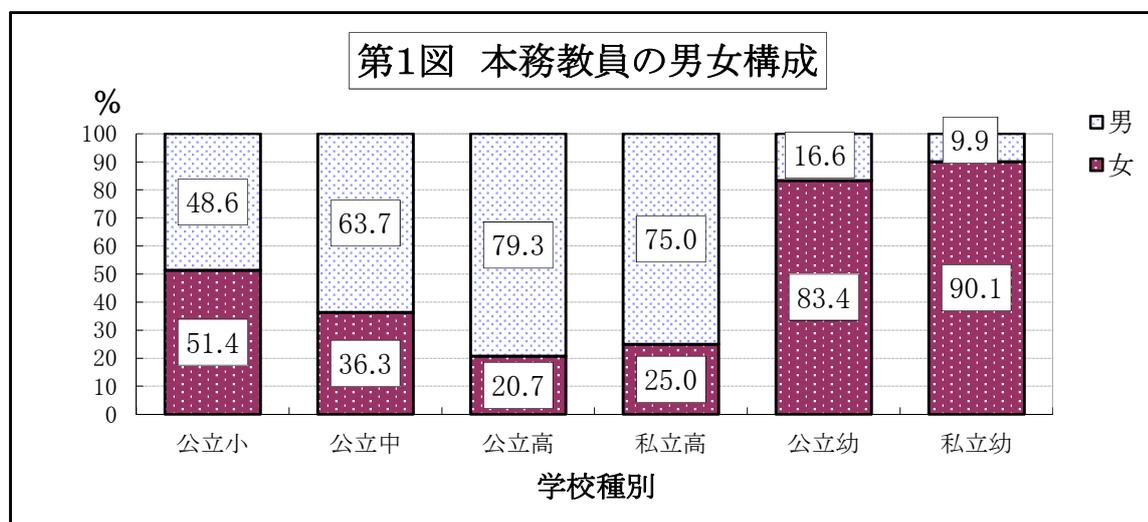
私立学校においては、高等学校全日制では353人の減少、幼稚園では425人の増加となっています。また、平成13年度との教員数の増減率をみると、公立学校においては、幼稚園で19.1%と最も大きく、次いで高等学校全日制で11.7%、中学校6.6%の減少となっています。

私立学校においては、高等学校全日制では15.7%の減少、幼稚園では10.7%の増加となっています。

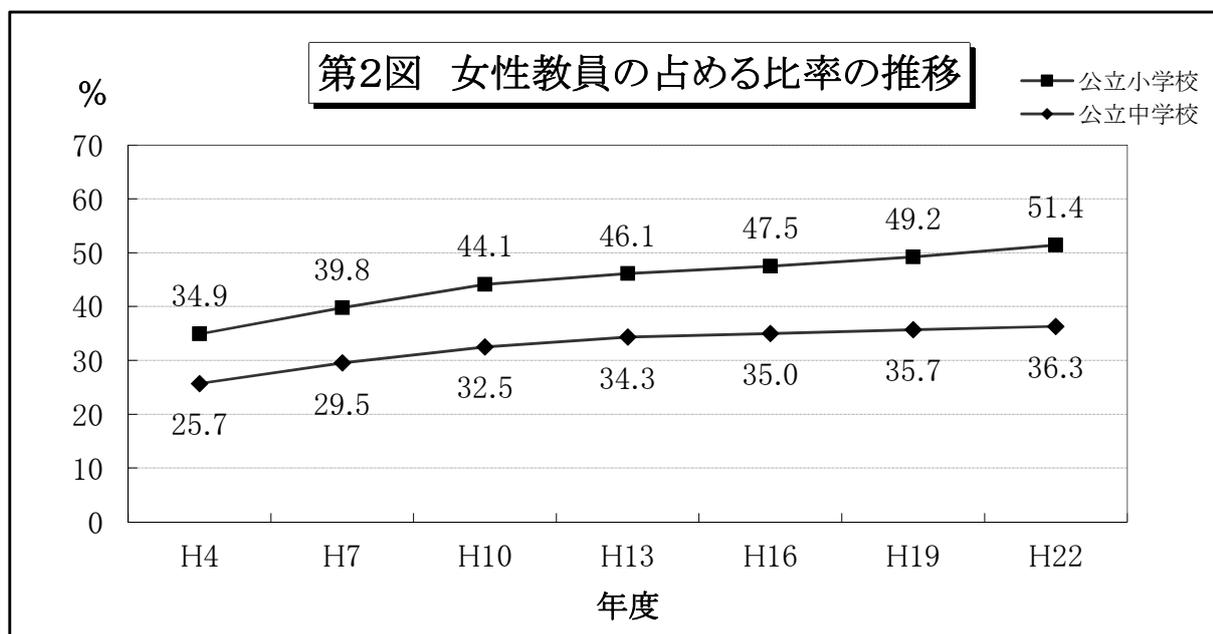
### 2 本務教員の構成

#### (1) 男女別構成

本務教員の男女別構成は、第1図のとおりです。これによると、幼稚園では女性教員の占める割合が圧倒的に大きく、それ以外の学校種でも、女性教員の割合が年々増加してきており、小学校ではその割合が半数を超えています。



公立小学校及び中学校の本務教員に占める女性教員の比率を年度別に示したのが第2図です。本道の女性教員の占める比率について平成19年度と比較すると小学校2.2%、中学校0.6%の増加となっています。また、平成4年度以降の推移をみると、小学校16.5%、中学校10.6%の伸びを示しています。



(2) 年齢別構成

平成13年度と平成22年度の本務教員の年齢別構成を5歳ごとの年齢層でまとめたのが第2表です。公立小学校及び中学校の教員についてみると、平成13年度は30～34歳の教員の占める割合が最も大きかったのに対し、平成22年度では35～39歳の占める割合が小学校17.2%、中学校18.2%と最も大きくなっています。また、45歳以上の中高年齢層は小学校42.0%、中学校40.7%となっていますが、平成13年度と比較すると小学校4.7%、中学校11.1%増加しております。なお、本務教員の年齢別、男女別構成比を示したのが第3図です。

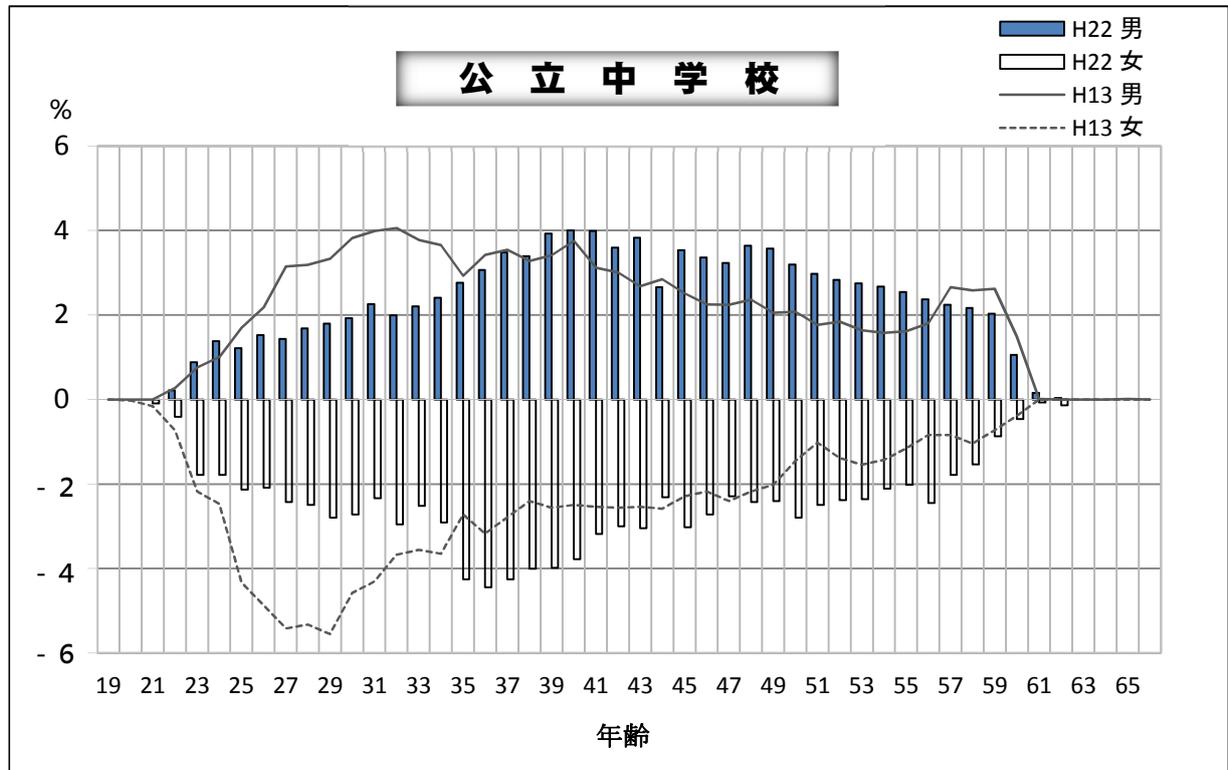
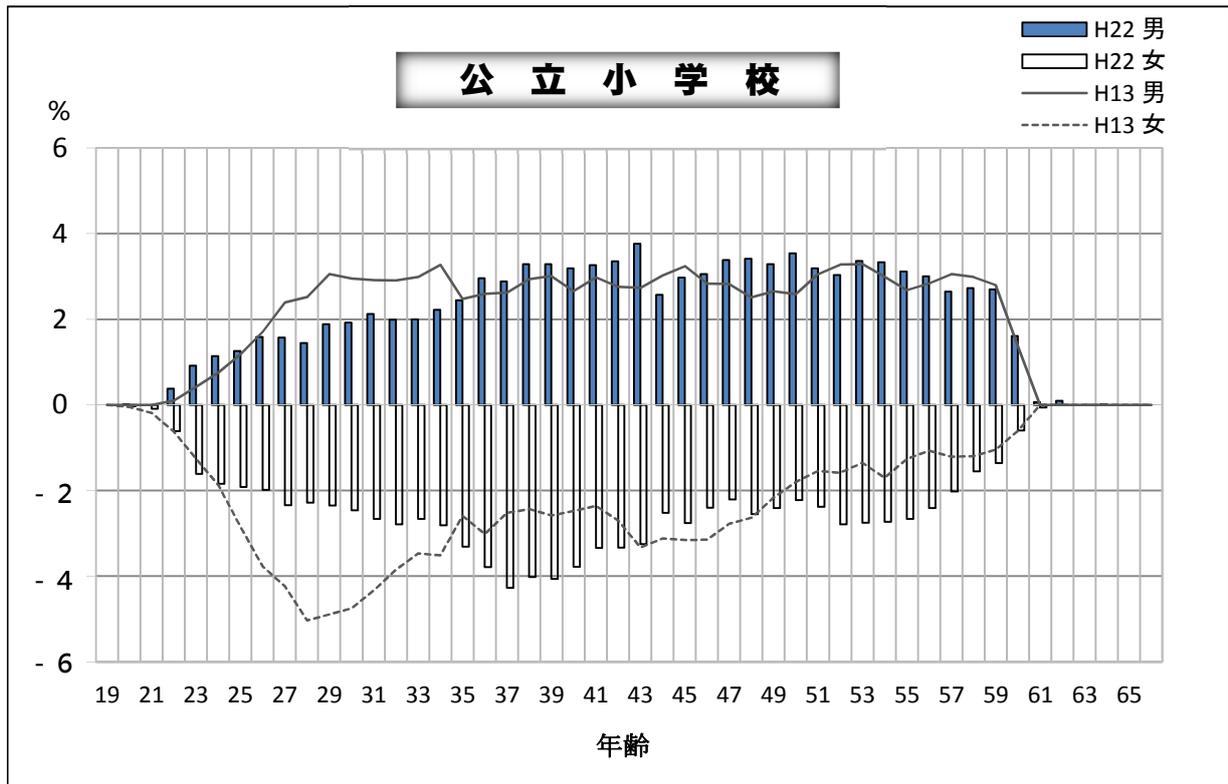
第2表 本務教員の年齢別構成(平成13年度と平成22年度の比較)

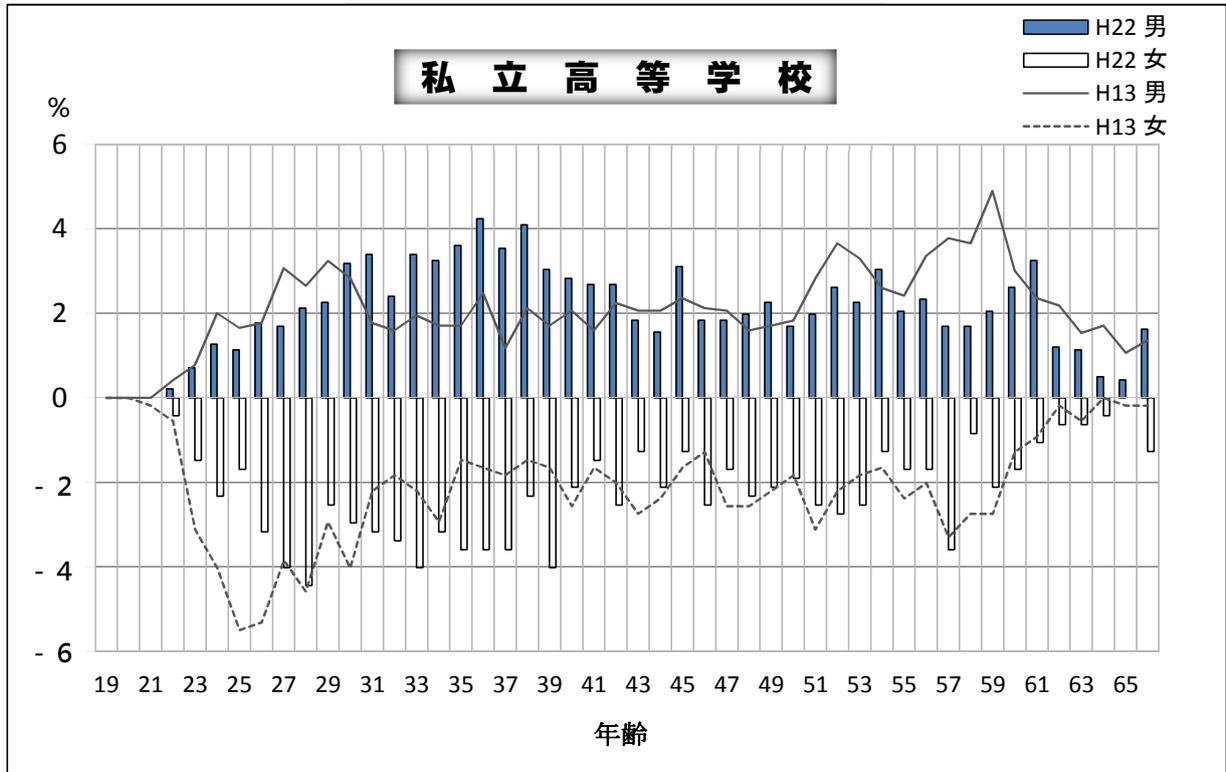
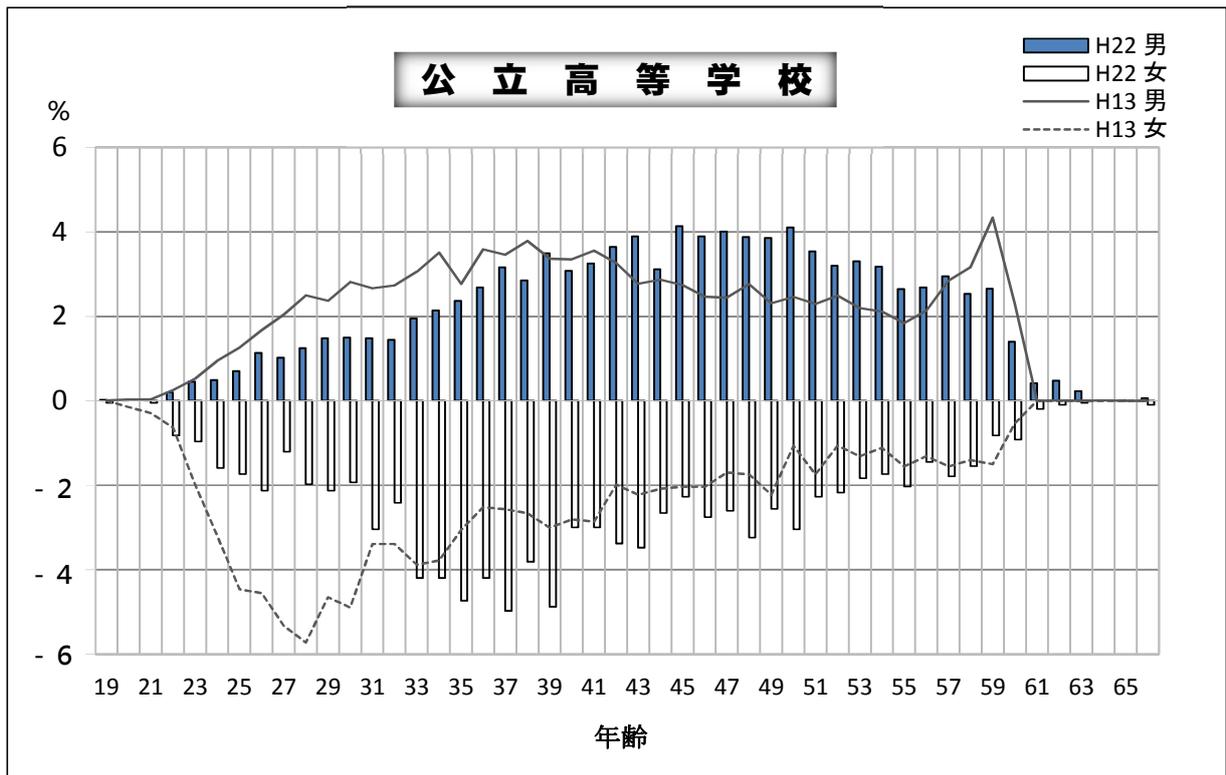
(単位%)

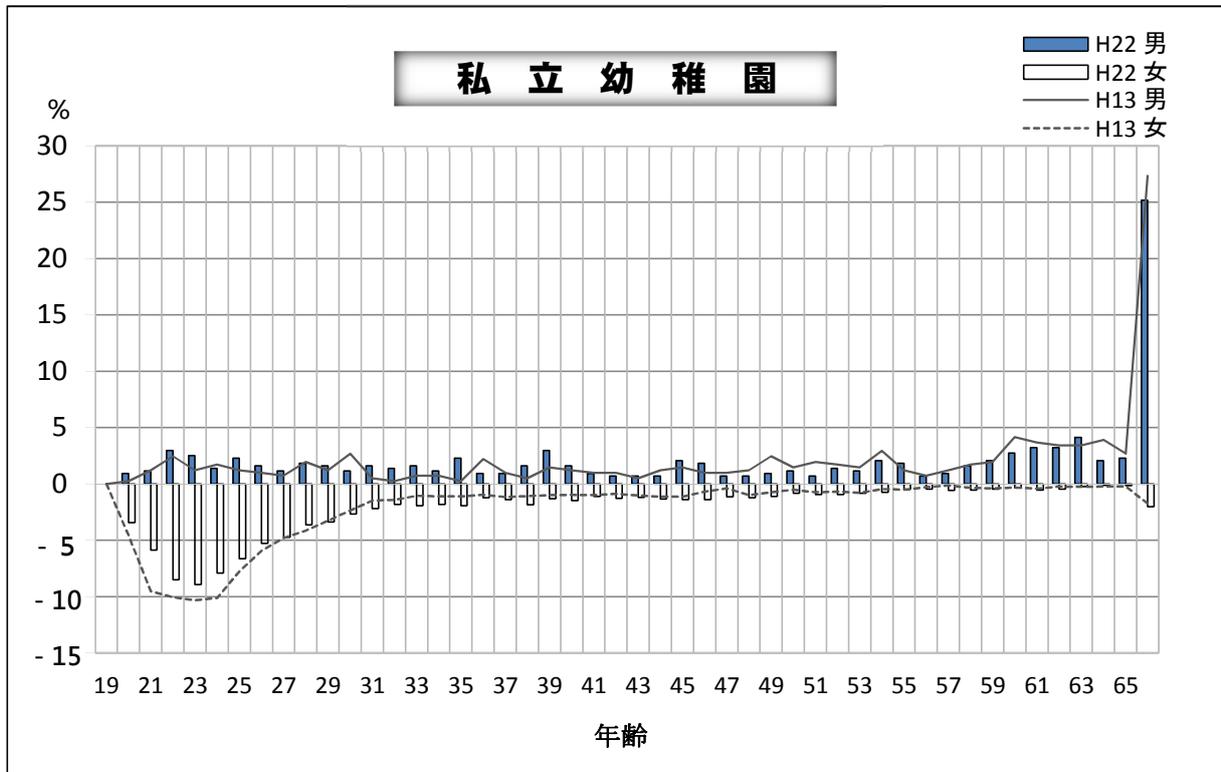
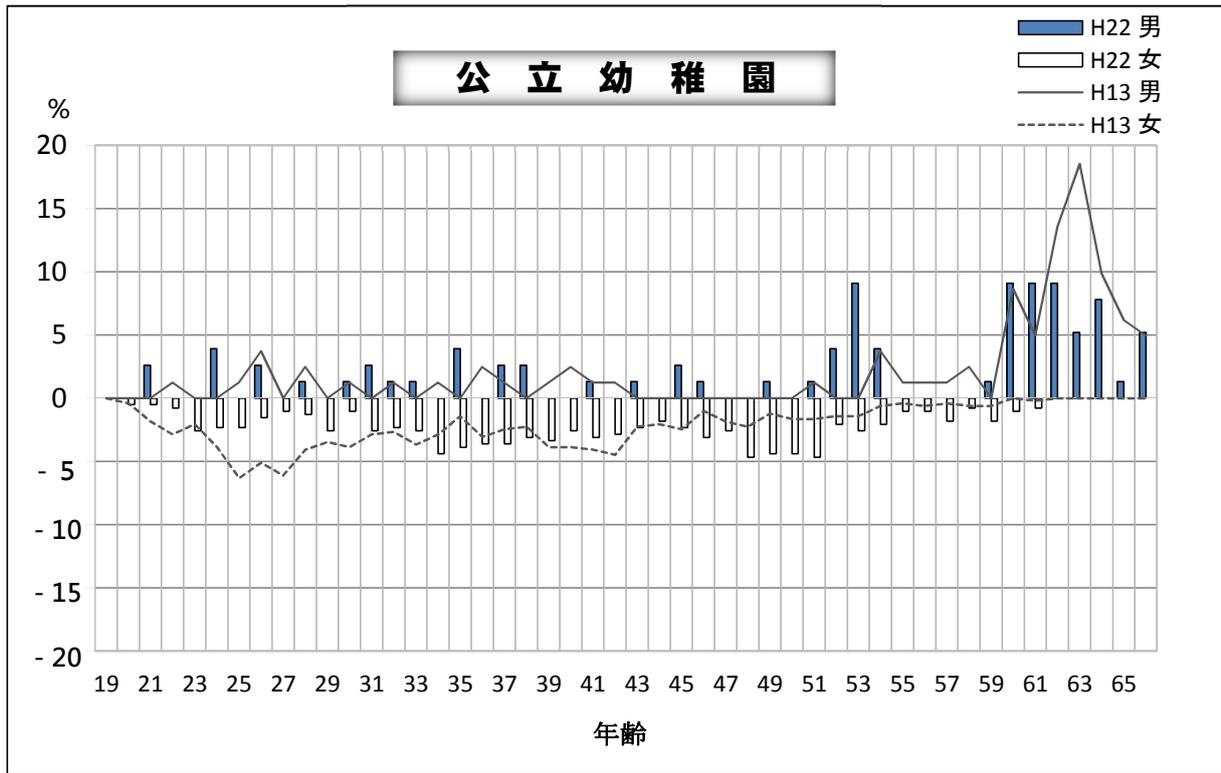
種別 年齢	公立								私立			
	小学校		中学校		高等学校		幼稚園		高等学校		幼稚園	
	13年度	22年度										
24歳以下	2.5	3.3	3.2	3.1	2.6	1.7	9.6	6.7	4.3	2.7	40.7	32.1
25～29歳	15.4	9.4	17.6	9.2	12.5	6.3	22.6	8.0	14.8	10.7	23.8	22.1
30～34歳	17.3	11.9	19.5	11.7	15.6	10.0	14.2	11.9	10.7	15.9	7.1	10.1
35～39歳	13.4	17.2	15.6	18.2	16.4	16.2	11.9	16.2	8.9	18.2	5.2	7.8
40～44歳	14.1	16.2	14.5	17.1	15.1	16.7	15.0	11.0	10.3	11.1	4.9	6.3
45～49歳	14.0	14.2	11.3	15.7	12.2	18.5	7.5	15.1	10.0	10.7	4.2	6.3
50～54歳	11.9	14.6	8.2	13.6	10.6	16.0	6.5	16.2	13.3	11.4	3.8	4.5
55～59歳	10.4	12.0	9.0	10.4	13.0	12.3	3.1	5.6	16.9	9.8	2.2	3.0
60歳以上	1.0	1.2	1.1	1.0	2.0	2.3	9.6	9.3	10.8	9.5	8.1	7.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

\*網掛け部分は、各学校種で年度別に教員の占める割合が一番大きい年齢層である。

第3図 本務教員の年齢別・男女別構成比



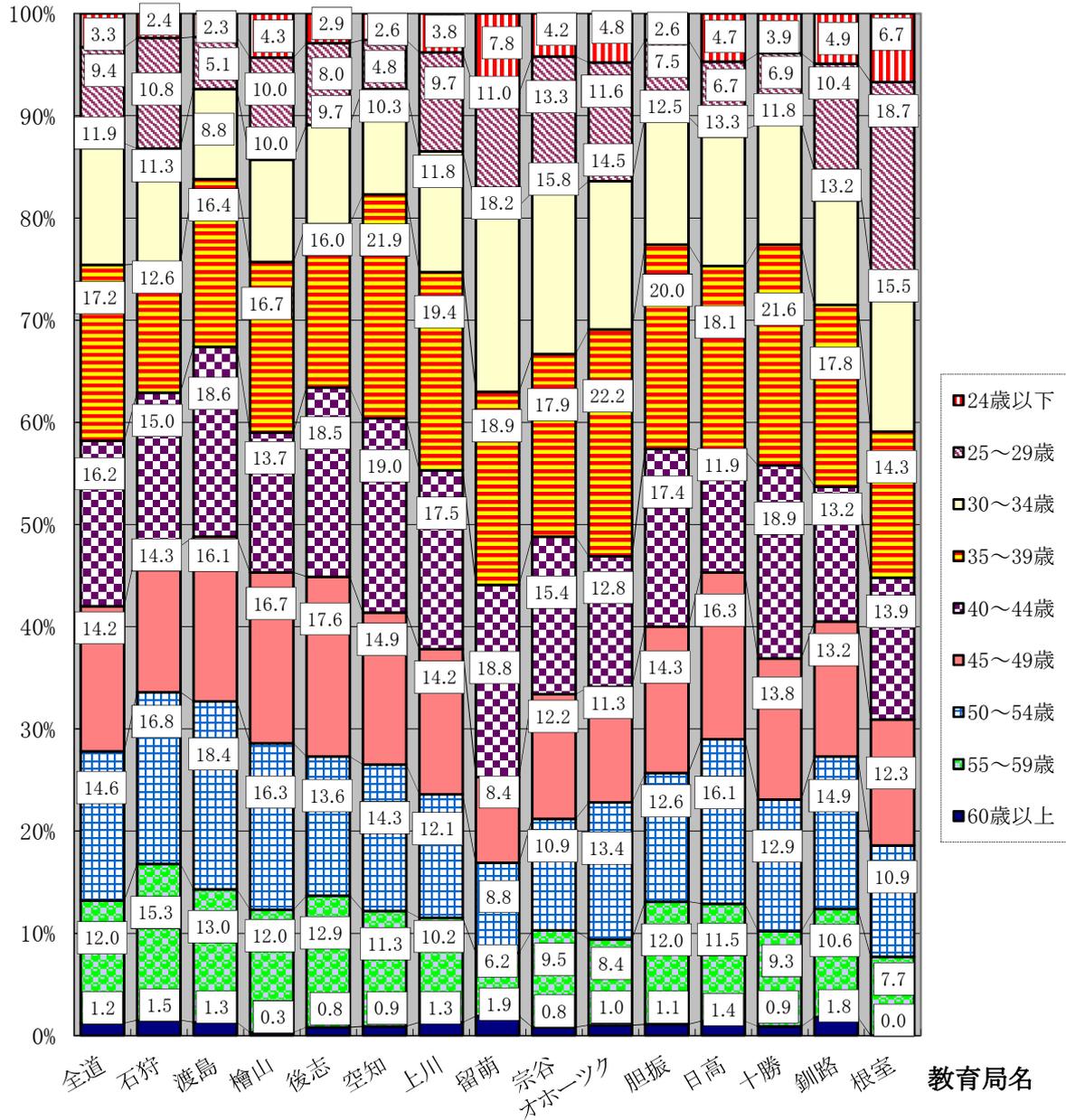




公立小学校、中学校及び高等学校の本務教員の年齢構成を教育局別にみたのが、第4図-1～3です。  
 これによると、公立小学校における45歳以上の中高年齢者の占める比率をみると、最も高いのは渡島管内の48.8%  
 で、次いで石狩の47.9%、檜山と日高の45.3%となっています。  
 また、最も低いのは留萌管内の25.3%、次いで根室の30.9%、宗谷の33.4%となっています。

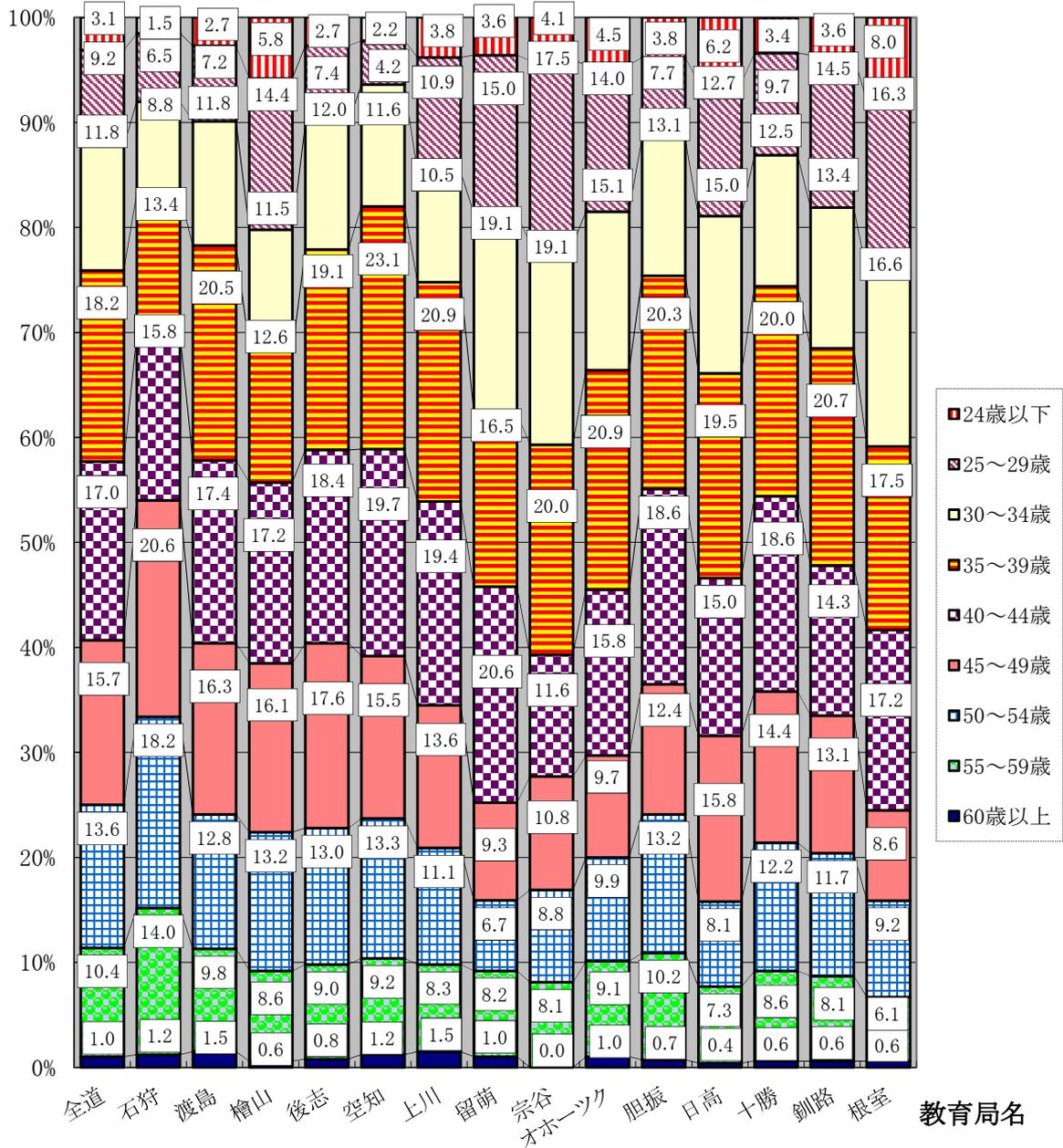
第4図-1

教育局別・年齢別本務教員数  
 -公立小学校-



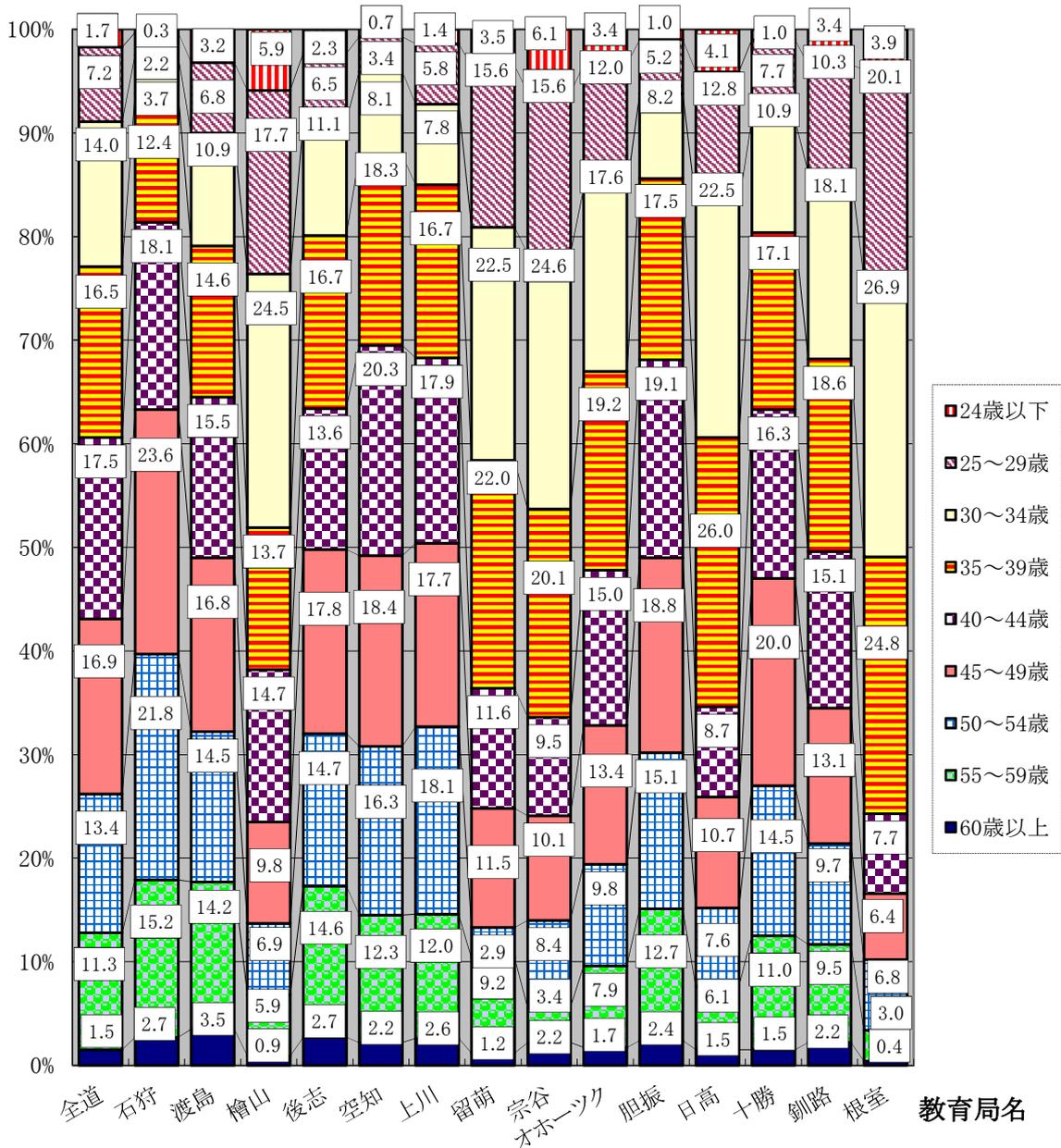
公立中学校における45歳以上の中高年齢者の占める比率をみると、最も高いのは石狩管内の54.0%で、次いで渡島と後志の40.4%の順となっています。  
 また、最も低いのは根室管内の24.5%、次いで留萌の25.2%、宗谷の27.7%となっています。

教育局別・年齢別本務教員数  
 -公立中学校-



公立高等学校における45歳以上の中高年齢者の占める比率をみると、最も高いのは石狩管内の63.3%で、次いで後志の49.8%、空知の49.2%の順となっています。  
 また、最も低いのは、根室管内の16.6%、次いで宗谷の24.1%、留萌の24.8%となっています。

教育局別・年齢別本務教員数  
 -公立高等学校-



(3) 平均年齢

本務教員の平均年齢は第3表のとおりですが、平均年齢の推移を本調査によりみたのが第5図です。

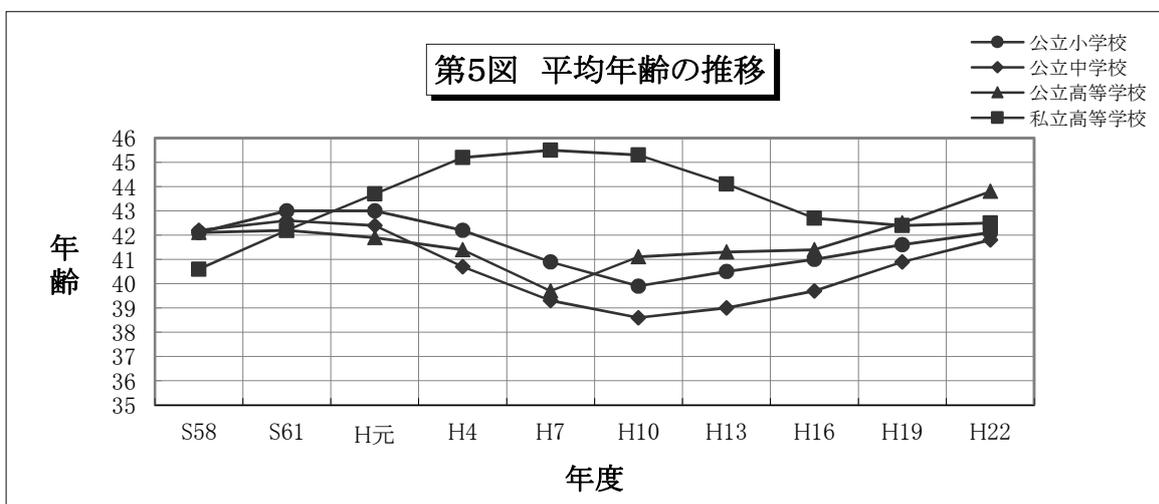
さらに、公立小学校及び公立中学校の職名別平均年齢を教育局別にみたのが第4表です。

これによると、平均年齢の最も高いのは、小学校では渡島管内の43.9歳、中学校では石狩管内の44.3歳となっています。

また、最も低いのは、小学校では根室管内の38.5歳、中学校でも根室管内の37.9歳となっています。

第3表 本務教員の平均年齢

種別		平均年齢	男	女
区分		(歳)	(歳)	(歳)
公立	小学校	42.1	43.5	40.8
	中学校	41.8	42.7	40.3
	高等学校	43.8	44.6	40.5
	幼稚園	42.6	50.9	41.0
私立	高等学校	42.5	43.1	40.6
	幼稚園	33.8	49.5	32.1



区分	S58	S61	H元	H4	H7	H10	H13	H16	H19	H22
公立小学校	42.1	43.0	43.0	42.2	40.9	39.9	40.5	41.0	41.6	42.1
公立中学校	42.2	42.6	42.4	40.7	39.3	38.6	39.0	39.7	40.9	41.8
公立高等学校	42.1	42.2	41.9	41.4	39.7	41.1	41.3	41.4	42.5	43.8
私立高等学校	40.6	42.2	43.7	45.2	45.5	45.3	44.1	42.7	42.4	42.5

第4表 本務教員の教育局別・職名別平均年齢

教育局	小学校					中学校				
	平均年齢	校長	教頭	教諭	養護教諭	平均年齢	校長	教頭	教諭	養護教諭
全道	42.1	56.0	49.9	40.7	48.0	41.8	55.9	49.7	40.8	47.6
石狩	43.2	57.0	52.2	42.1	47.2	44.3	56.7	51.9	43.7	45.5
渡島	43.9	56.4	49.5	42.6	48.2	42.0	56.3	49.0	40.6	49.1
檜山	42.1	54.8	47.8	39.5	48.7	40.4	55.2	49.0	39.0	49.1
後志	42.8	54.9	48.9	41.2	50.3	41.9	54.3	48.6	40.7	47.3
空知	42.7	55.1	49.5	41.2	51.8	42.3	55.7	49.2	40.7	51.6
上川	41.3	56.8	50.8	39.2	48.9	40.9	56.8	50.8	39.3	48.3
留萌	38.7	56.5	45.3	36.8	42.4	38.8	56.3	46.8	37.0	46.1
宗谷	39.9	55.6	49.1	37.5	44.0	38.3	55.0	48.3	35.8	45.8
オホーツク	40.1	55.0	47.7	38.3	47.6	39.6	55.4	48.4	38.1	49.3
胆振	42.1	55.9	50.2	40.7	47.8	41.4	56.2	49.5	40.1	47.2
日高	42.3	55.4	49.5	40.7	46.8	39.2	54.9	48.3	37.4	47.8
十勝	41.5	55.5	48.8	39.9	49.2	41.0	54.8	48.4	40.1	49.0
釧路	41.5	56.4	50.1	39.9	47.0	39.8	55.8	49.6	38.5	47.4
根室	38.5	55.1	47.7	36.5	41.8	37.9	54.9	48.3	36.1	38.5